

# カンボジア

2020年12月1日  
海外調査部・プノンペン事務所

2019年の実質GDP成長率は7.0%と、高い経済成長率を維持した。貿易額は輸出入とも増加し前年比17.2%増となったが、貿易赤字も拡大した。外国直接投資額は適格投資案件 (QIP) 認可ベースで3.6%増の47億4,500万ドルと微増した。このうち経済特区外への投資額は減少したが、経済特区内への投資は10億300万ドルと35.2%増となった。また、国別では中国が突出し、全体の78.1%を占めた。2020年のGDP成長率はIMFによるとマイナス2.8%の見込みだ。新型コロナウイルスの感染拡大やEUによる特惠関税制度の一部停止により、主要産業の縫製業や観光業をはじめ多くの産業で失業者が出ている。

## ■2019年は高成長を維持も2020年はマイナスの予想

2019年の実質GDP成長率は7.0%となり、2010年以降7%前後の高い成長率を維持している。カンボジア国立銀行 (NBC) によると、主要輸出品目である縫製品および履物、革製品の輸出拡大が高成長に寄与した。また、国内では高級ホテルや高速道路、新空港などのインフラ投資建設が相次いでいることや観光客が増加したことが経済成長を後押しした。

他方、IMFによると、2020年のGDP成長率は10月時点でマイナス2.8%と予測されている。新型コロナウイルスによる世界経済の低迷と同年2月に発表され8月に実施されたEUによる特惠関税制度「武器以外全て (Everything But Arms: EBA)」の一部停止の影響を受け、カンボジア縫製業協会 (GMAC) は、7月時点で、250の縫製工場が操業停止、13万人の労働者が失業していると発表、2020年の売り上げは前年比50~60%減少を予想している。観光業はGDP全体の12%を占めているが、新型コロナの影響で7月現在、観光関連企業約3,000社が閉鎖、4万5,000人が失業している。

## ■米国向け輸出が好調

2019年の輸出額は149億9,900万ドル (前年比15.6%増)、輸入額は222億5,000万ドル (18.3%増) と、輸出入ともに増加した。他方、貿易赤字も72億5,100万ドル (24.2%増) と拡大した。品目別では、主要輸出品目の衣類、その他縫製品、靴の輸出が拡大した。特にかばん・革製品を含むその他縫製品は前年比で96.4%増

表1 カンボジアの主要品目別輸出入 (国際収支ベース)

(単位: 100万ドル、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (FOB)			
	2018年		2019年			2018年		2019年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
衣類	7,811	8,239	54.9	5.5	縫製原料	4,228	4,282	19.2	1.3
その他縫製品	659	1,295	8.6	96.4	石油	1,725	2,426	10.9	40.7
靴	1,042	1,267	8.4	21.6	建設資材・機械	1,564	2,303	10.4	47.2
農産物	891	894	6.0	0.2	車両	1,565	2,268	10.2	44.9
自転車	395	418	2.8	5.9	食品・飲料	973	1,117	5.0	14.7
電子部品	160	269	1.8	67.6	その他	8,758	9,854	44.3	12.5
その他	2,016	2,618	17.5	29.9	合計	18,814	22,250	100.0	18.3
合計	12,974	14,999	100.0	15.6					

[注] 為替レートは2019年が1ドル=4,060リエル、2018年は1ドル=4,045リエル。

[出所] カンボジア国立銀行

加した。背景には2016年7月から米国との間で特惠関税対象とされたかばん、財布などの輸出が堅調に伸びたことがある。輸入では建設資材・機械が需要の増加によって47.2%増、また前年に引き続き車両の輸入額が消費意欲の高まりによって44.9%増となった。

国別にみると、輸出と輸入を合わせた貿易額の1位は中国で、前年比25.5%増となり、全体の25.3%を占めた。輸出額の1位は米国でかばんや革製品の増加が牽引して44.1%増となり、輸出額の29.9%を占めた。また、主要輸出先である欧州は、2019年2月の欧州委員会によるEBA見直しの調査開始によって縫製品の輸出が減少したことを受け、ドイツ（前年比2.2%減）、英国（4.2%減）と軒並み減少した。一方、輸入額の1位は中国で37.8%を占め、縫製原料が主要品目となっている。

カンボジア国立銀行によると、2020年上半期の輸出額は前年同期比16.4%増、輸入額は3.1%減、貿易額全体では4.5%増となっており、新型コロナによる経済活動の停滞や国内の需要減により、建設資材、縫製原料、車両などあらゆる品目で輸入減が顕著となった。

## ■外国直接投資は中国が突出

2019年の対内直接投資は前年比3.6%増の47億4,500万ドルで、うち21.1%を占める経済特区（SEZ）内への投資額は35.2%増の10億3,000万ドルと好調であった。国別にみると、中国が37億6,000万ドルで全体の78.1%を占めた。国別で2位の英領バージン諸島についても中国企業による投資と推定され、これらを合計すると87.9%を占め、群を抜いている。3位は日本で、全体の6.3%を占めた。また、タイ、ベトナムからの投資はそれぞれ病院建設（5,500万ドル）と農業事業（6,300万ドル）への投資が目立った。

業種別では、非製造業が28億4,500万ドルと鉱工業と農業の合計額よりも多かった。特に、観光・ホテル（24億5,200万ドル）の投資が牽引した。観光・ホテルのうち21億3,000万ドルが中国からの投資で、特に南部のプレシアヌーク州への投資が9億2,000万ドルと際立っている。同州は大規模なインフラ開発が進み、貿易や観光の重要な拠点となっているためだ。業種別の第2位は鉱工業で18億7,000万ドル（45.1%増）と全体の38.1%を占めた。規模別でみると、中規模企業による投資が多く、衣類・

表2 カンボジアの主要国・地域別輸出入

(単位：100万ドル、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (FOB)			
	2018年		2019年			2018年		2019年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
米国	3,108	4,479	29.9	44.1	中国	6,643	8,419	37.8	26.7
日本	1,099	1,155	7.7	5.1	タイ	3,390	3,553	16.0	4.8
ドイツ	1,121	1,096	7.3	△2.2	ベトナム	2,397	2,999	13.5	25.1
中国	882	1,021	6.8	15.8	日本	801	972	4.4	21.3
英国	1,038	994	6.6	△4.2	台湾	839	881	4.0	5.0
カナダ	793	850	5.7	7.3	インドネシア	564	850	3.8	50.6
ベルギー	505	550	3.7	9.1	韓国	615	739	3.3	20.1
スペイン	524	526	3.5	0.4	シンガポール	619	663	3.0	7.1
タイ	311	511	3.4	64.3	マレーシア	386	643	2.9	66.7
オランダ	436	471	3.1	8.0	香港	651	596	2.7	△8.4
その他	3,156	3,343	22.3	5.9	その他	1,908	1,934	8.7	1.4
合計	12,974	14,999	100.0	15.6	合計	18,814	22,250	100.0	18.3

[注] 表1に同じ。

[出所] カンボジア国立銀行および商業省のデータからジェトロ作成

表3 カンボジアの国・地域別対内直接投資〈認可ベース〉

(単位：件、100万ドル、%)

	2018年		2019年			
	件数	金額	件数	金額	構成比	伸び率
中国	143	3,360	248	3,706	78.1	10.3
英領バージン諸島	1	30	5	463	9.8	1444.5
日本	9	884	6	299	6.3	△66.2
タイ	8	51	5	73	1.5	42.6
ベトナム	1	44	2	66	1.4	50.0
英国	2	14	1	26	0.5	85.7
シンガポール	2	18	6	26	0.6	46.7
その他	39	178	23	86	1.8	△51.6
合計	205	4,579	296	4,745	100.0	3.6

[注] カンボジア開発評議会（CDC）のカンボジア投資委員会（CIB）が発表するSEZ以外のへの適格投資案件（QIP）取得企業および、CDCのカンボジア経済特別区委員会（CSEZB）が発表するSEZ内への投資案件（同様にQIP取得企業）が対象の統計を足し上げたもの。なお、QIP取得企業以外の統計は入手できない。

[出所] CIB、CSEZBよりジェトロ作成

繊維は80件で5億1,000万ドル、皮革は58件で3億2,200万ドルであった。

2020年1～6月の対内直接投資をみると、認可件数ベースで全175件中121件が中国企業による投資となっており、コロナ禍の下でも中国からの投資は堅調だ。

### ■日本からは車両および部品の輸出の伸びが顕著

日本の財務省貿易統計（通関ベース）によると、2019年の日本のカンボジアへの輸出額は5億6,200万ドル（前年比33.4%増）であった。品目別で見ると、1位は車両および部品で1億2,400万ドル（55.6%増）であった。富裕層向けに高級車の需要が高まっている。続いて機械類および部品が1億1,300万ドル（25.6%増）、肉類が8,500万ドル（48.3%増）であった。また、日本のカンボジアからの輸入額は17億3,100万ドル（7.7%増）で、前年に続いて増加した。品目別で見ると、上位2品目は縫製品で、11億4,700万ドル（7.7%増）であった。3位は履物で2億800万ドル（0.2%減）となっている。4位のかばんなどの革製品は1億4,400万ドル（24.7%増）で他の品目に比べ伸び率が大きい。

なお、2020年上半期（1～6月）の貿易額は

前年同期比5.2%減で、新型コロナウイルスの影響が出始めているとみられる。輸入額は1.7%減なのに対し、輸出額が16.1%減と大きく、特に肉類（26.1%減）、車両（27.2%減）などが落ち込んでいる。

### ■日本からの製造業投資は大幅減も、商業投資は活発

2019年の日本からのQIP認可ベースの投資額は2億9,900万ドルで前年比66.2%減となった。このうち99.7%がSEZ外への投資で、2023年に開業予定のイオンモール3号店への投資が大部分を占めた。一方、SEZ内への投資は、タイプラスワンとしてタイとの国境近くのポイペトに進出したワイヤーハーネス製造業1件のみで、SEZ内投資は件数、金額ともに2010年以降最低となった。また、2020年1月～6月にかけて日系企業の投資はSEZ内ではQIP認可はなく、SEZ外では、カンボジアおよび米日3カ国による観光業関連の合弁事業が1件認可されている。

表4 カンボジアの業種別対内直接投資（認可ベース）

（単位：100万ドル、%）

	2018年		2019年	
	金額	金額	構成比	伸び率
農業	154	93	1.9	△39.9
鉱工業	1,246	1,807	38.1	45.1
衣類・繊維	329	510	10.7	55.0
機械・金属・電気	146	485	10.2	231.4
皮革	44	322	6.8	636.1
プラスチック	406	132	2.8	△67.4
食品	144	77	1.6	△46.7
エネルギー	67	31	0.7	△53.7
鉱業	14	0	0.0	△100.0
その他	96	251	5.3	160.2
非製造業	3,178	2,845	60.0	△10.5
観光・ホテル	985	2,452	51.7	149.0
建設・インフラ	1,926	393	8.3	△79.6
その他	267	0	0.0	△100.0
合計（その他含む）	4,578	4,745	100.0	3.6

〔注〕カンボジア開発評議会（CDC）のカンボジア投資委員会（CIB）が発表するSEZ以外の適格投資案件（QIP）取得企業および、CDCのカンボジア経済特別区委員会（CSEZB）が発表するSEZ内への投資案件（同様にQIP取得企業）が対象の統計を足上げたもの。なお、QIP取得企業以外の統計は入手できない。

〔出所〕カンボジア投資委員会（CIB）、カンボジアSEZ委員会（CSEZB）よりジェトロ作成

表5 日本の対カンボジア主要品目別輸出入（通関ベース）

（単位：100万ドル、%）

	輸出（FOB）					輸入（CIF）			
	2018年		2019年			2018年		2019年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
車両および部品	79	124	22.0	55.6	衣料品(織物)	582	640	37.0	10.0
機械類および部品	90	113	20.0	25.6	衣料品（ニット）	483	507	29.3	5.0
肉類	57	85	15.2	48.3	履物	209	208	12.0	△0.2
電気機器および部品	45	60	10.7	32.7	革製品	115	144	8.3	24.7
合成繊維、人造繊維	9	12	2.1	29.8	電気機器および部品	80	83	4.8	3.4
その他	141	169	30.1	20.3	その他	137	148	8.6	8.5
合計	421	562	100.0	33.4	合計	1,606	1,731	100.0	7.7

〔出所〕財務省貿易統計よりジェトロ作成

## 主要経済指標

	2017年	2018年	2019年
①人口：1,530万人（2019年）			
②面積：18万1,035km <sup>2</sup>			
③1人当たりGDP：1,643米ドル （2019年）			
④実質GDP成長率（%）	7.0	7.5	7.0
⑤消費者物価上昇率（%）	2.9	2.5	2.4
⑥失業率（%）	0.7	0.7	0.7
⑦貿易収支（100万米ドル）	△4,278	△5,840	△7,253
⑧経常収支（100万米ドル）	△1,782	△2,893	△4,065
⑨外貨準備高（グロス） （100万米ドル）	11,262	13,373	17,033
⑩対外債務残高（グロス） （100万米ドル）	6,672	7,022	7,596
⑪為替レート（1米ドルにつき、 リエル、期中平均）	4,051	4,051	4,061

〔出所〕 ①②：カンボジア計画省、③⑥：世界銀行、④⑤⑨⑪：IMF、⑦⑧⑩：カンボジア国立銀行

（お問い合わせ先）

海外調査部 アジア大洋州課

ORF@jetro.go.jp